

# CSR活動重点テーマ

## 執行役CSR行動計画

2015年に指名委員会等設置会社に移行したことに伴い、従来の「取締役CSR行動計画」を「執行役CSR行動計画」としました。執行役CSR行動計画は、社会・環境・ガバナンスに関して、重点取り組みテーマを毎年度設定し、荏原グループのCSR活動の継続的な改善を図ることを目的としています。本行動計画はCSR委員会が制定し、委員が執行役として所掌する配下に展開され、推進されます。

達成度を執行役が期末に自ら評価し、次年度のCSR行動計画を策定するしくみとしています。

## 2015年度執行役CSR行動計画策定プロセス

当社グループの中期経営計画E-Plan2016に掲げる「2019年度にありたい姿」のグループ全体ビジョンの1つとして掲げている「性別、国籍等によらず個々の従業員の能力を伸ばし最大限に発揮させるための環境の整備、及び発揮された能力に相応しい対価で報いるための制度を導入する。」の実現に向け、2016年度末までの基本方針として掲げている「IV.グローバル事業展開を支える経営インフラの拡充を図ること」に対する行動計画を執行役CSR行動計画として決めました。

2014年度CSR委員会において、社外取締役やコンプライアンス相談窓口を務める社外弁護士の外部意見、社会の重要な要請事項としてコーポレートガバナンス・コードの基本原則2及び3を考慮して策定しました。

## 2015年度執行役CSR行動計画と達成度／2016年度執行役CSR行動計画

達成度 ○:2015年度の目標を達成した。 △:2015年度中に目標達成できなかった。 ○:維持・管理を継続

E-Plan2016期中においてCSR活動が目指す姿	2015年度執行役CSR行動計画	2015年度達成度	2016年度執行役CSR行動計画	対応するCSR方針	活動成果報告ページ
I.人権と多様性を尊重し働きやすい職場を作ることで、長期的成長戦略の基礎を構築する。	女性活躍推進について、推進計画を策定する。	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>人材育成、適切な人事評価、適材適所の配置に継続的に取り組む。</li> <li>働き方の改革」の推進方針を具体化し、各部門で具体的な計画を立てて実施する。</li> <li>キャリアマネジメントプログラムの対象を広げ、実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑥ 人権と多様性:人権と多様性を尊重します。</li> <li>⑧ 職場環境:安心・安全な働きやすい職場をつくります。</li> </ul>	11~14
II. 荏原と荏原グループ各社が質の高いコミュニケーションを図ることにより、グループ会社のガバナンス・内部統制レベルを向上するとともに、リスク事象の早期発見を可能にすることで、グループ全体のリスクを低減する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>内部統制が有効に機能したかどうかを自己評価する。</li> <li>CSR委員会においてCSR活動テーマの進捗状況を確認し、改善指示を行う。</li> <li>日本国内のグループ会社代表者をCSR委員会に招聘し、ガバナンス強化を図る。</li> <li>海外グループ会社に対し、内部通報制度を展開する。</li> <li>従業員と経営層が直接対話することや、あらゆる機会を通じてステークホルダーとの対話を行うことで、経営層のCSRへの取り組み姿勢、考え方を理解してもらう。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外グループ会社に展開したリスクマネジメントガイドラインについて、各社の行動計画の実施状況のフォローアップを行う。</li> <li>日本国内グループ会社代表者をCSR委員会に招聘し、ガバナンス強化を図る。</li> <li>「荏原グループ統合内部通報制度」を順次拡大する。新設会社への内部通報制度、整備済みの会社における適正運用の指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑨ コミュニケーション:質の高いコミュニケーションを通じ、互いに誇りをもてる企業を目指します。</li> </ul>	08~09
III. 荏原グループ各社への荏原らしさの浸透を進め、企業理念、CSR方針を徹底することで、顧客のニーズに熱意と誠意をもって応えと同時に、コンプライアンス意識を高めて不祥事の未然防止を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内外グループ会社に対して荏原らしさ浸透のための教育・啓発活動を行う。</li> <li>代表執行役は社内報、創業記念日、始業式、行動基本原則再確認の日等でCSR実践についてメッセージを発信する。</li> <li>執行役は、配下従業員に対してCSR活動実践を発信することにより、自部門におけるCSRに対する意識啓発を行う。</li> <li>日本国内グループ会社の経営層、従業員を対象としたCSR研修を行う。</li> <li>従業員のコンプライアンス徹底状況を確認する。</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>荏原及び日本国内子会社に対してeラーニングによる「荏原らしさ」教育を継続する。</li> <li>海外子会社に対して、eラーニングプログラムを展開する。</li> <li>荏原らしさ研修未実施会社について順次研修を行う。</li> <li>各執行役から配下の部門に向けてCSR推進メッセージを発信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑤ 熱意と誠意:熱意と誠意をもって接します。</li> </ul>	05,10
IV. 社会・産業・暮らしを支える企業グループとして、災害等クライシス発生時も事業を継続し、社会的使命を全うするための基盤を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業継続マネジメントシステム(BCMS*1)を強化する。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>各組織がBCM年度計画を策定し、BCM委員会がその評価を行う。2015年度に実施した活動を継続し、体制の改善を図る。工場及び営業拠点の耐震化計画を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 誇り:社会・産業・暮らしを支えることが存在意義であると自覚します。</li> </ul>	08
V. 当社グループの事業所、工場等の活動に起因する環境汚染の予防と是正を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内グループ会社の事業拠点における環境保全活動の推進及び危険物管理・高圧ガス管理徹底。</li> <li>海外グループ会社の工場系事業所における環境保全推進。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本では、2020年度環境目標達成に向けた活動を推進する。</li> <li>海外グループ会社については、汚染予防を目的として、リスクレベルに応じて環境保全調査を行い、改善計画を策定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>④ 環境:地球環境の改善に努めます。</li> </ul>	10~16
VI.ステークホルダーに対し積極的に情報開示を行うことにより、説明責任を果たすとともにグループの信頼性を拡大する。	CSRレポート、統合報告書、社内報、イントラネット、当社webサイトなどの伝達媒体を用いて、CSR方針推進のメッセージやCSR情報を発信する。	◎	社内外のステークホルダーに対して企業価値を継続的に向上させる情報発信を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑦ 情報開示:透明性のある情報開示によって相互理解に努めます。</li> </ul>	02
VII. 企業グループの健全な存続発展を阻むリスクの最小化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外グループ会社におけるリスクマネジメントガイドラインの目標を達成する。</li> <li>情報セキュリティの課題として、ステークホルダーの個人情報を適切に管理するために規程とインフラを整備する。</li> </ul>	○	リスクマネジメントパネルによるリスク管理を継続する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>② 製品とサービス:創意工夫し、お客様に喜ばれる技術、製品、サービスを提供します。</li> </ul>	08~09
VIII. グループ全体で腐敗防止に努め、自主的・予防的措置を講じる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>腐敗防止プログラム継続実施。</li> </ul>	○	腐敗防止プログラムを継続して実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>③ 競争:公正かつ自由な競争の下に活動します。</li> </ul>	10

\*1 BCMS: Business Continuity Management System